



かえるの詩

学校便り(校長) 令和3年8月31日 No.7

今日のテーマは、『幸せ』についてです。

皆さんが「幸せ」を感じる瞬間はどんな時ですか？

昨年度からのコロナ禍で、臨時休業、出席停止なども長期間にわたって断続的に続いており、「不要不急の外出」、「自粛疲れ」といった新しい言葉も生まれました。

このような中、先日、車で走っておりましたら、庭先で、花火をしている親子や、仲良く缶蹴り？的な遊びをしている親子の姿を見かけました。本当に、幸せを絵に描いたような光景で、目にした私も、とても幸せな気持ちになりました。

コロナ禍で、親子のきずなが深まるのなら、コロナ禍も悪いことばかりではないと思うことができました。

もちろん、新型コロナ感染症は重篤な症状を引き起こすことがある怖い病気ですので、今後ともできるだけ対策を講じていきますが、このような中でも楽しみを見つけれられるのが人間の強さかと思います。

反対に、人がうらやむような境遇、例えば、お金持ちであったり、仕事で成功を収めていたりしても、幸せを感じられない人がいるというのも、また、人間らしいとは思いますが、できれば、小さなことにも幸せを見付けられる方が、人生、楽しそうですね。

最後になりましたが、教育委員会や学校から、コロナ禍にもなうお願いことが多い中、ご協力いただいておりますことに感謝申し上げます。先が見通せずストレスが溜まる状況ですが、今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

保護者の皆様には、運動会の時は美味しいスイカをいただいたり、夏の暑い中で花壇の草取りをしていただくと、お世話になっております。本当にありがとうございました。

